

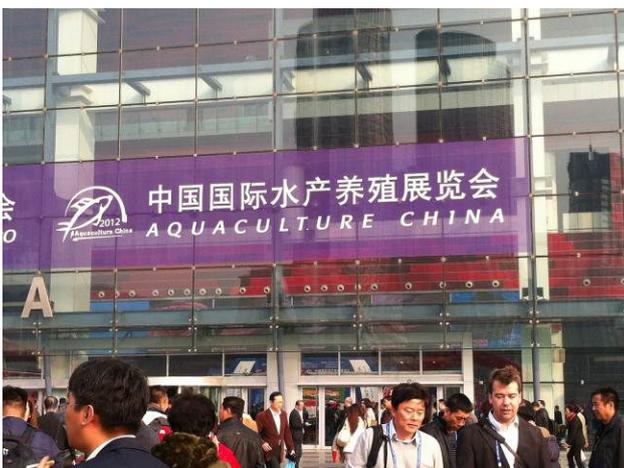
駐大連北九州市経済事務所

◆所長 田代 昇三 ◆副所長 古賀 直樹
◆副所長 呂 俐 ◆主任 劉 振傑
田代 e-mail : yumeiyasu4411@yahoo.co.jp

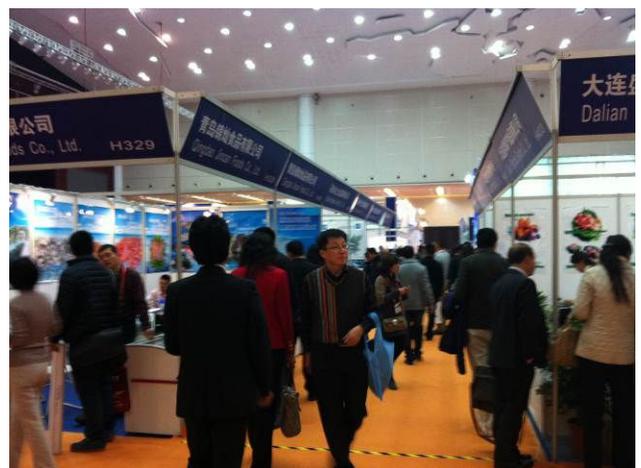
1. アジア最大の国際漁業博覧会開催 於大連

2012年11月6日から8日にかけて、大連市内の大連世界博覧会広場で国際漁業博覧会が開催されました。44か国903社の企業が出展し、アジア最大の「シーフードショー」として、84か国から関係者が3日合計で23,068名来場しました。ナショナルパビリオンとしては19か国が出展しており、日本のパビリオンにも5社の出展があり、商談件数725件(1社あたり1日平均48件)と多数の商談が行われたとのこと。当事務所も11月7日に同博覧会に参加しましたので、その様子をレポートします。

- (1) 中国人だけでなく、欧米系や日本人等世界各国からバイヤーが多数来場しており、熱食品サンプルやパンフレットを熱心に見て、実際に多数のブースで商談が行われていました。
(同博覧会は総合見本市とは違い、ターゲットをシーフードに絞っていることや、入場が100元と中国国内では比較的高めに設定されているため、冷やかしや試食目当ての入場者がおらず参加者の本気度が高い)
- (2) 現下の日中関係にも関わらず、日本のナショナルパビリオンには「JAPAN」と大きく掲げられており、JETRO大連によると「日本の看板を外せ」といった動きは一切なかったとのことでした。
- (3) 中国企業の出展が一番多かったのですが、日本語表記、若しくは日本食向けの食品サンプルを多数陳列しており、日本への食材輸出意欲の高さが依然として高いという印象を受けました。
- (4) 日本のブースでは冷凍伊勢海老や冷凍ロブスター、ふかひれスープ、乾燥ナマコ等の海産物の紹介が行われており、来場者も日本からの出展企業に興味深く視察していました。



大連世界博覧会広場の会場入口の様子



会場内のブースの様子



実際の商談の様子



日本向けの食材見本



試食ブースに集まる多数の人

2. 副所長交代 古賀 直樹 着任

ご挨拶:

この度辛川の後任として当事務所の副所長として赴任いたしました。

日本人の多くの方がそうである様に、中国とは全く縁のなかった私ではありますが、この度大連での任を受け大連での生活をスタート致しました。折角このような機会を頂戴しましたので、着任間もない日本人の目から見た大連の様子をお伝えできればと思います。

私が大連に赴任し、まず感じたことは想像していた以上に大連が親日の都市であるということです。昨今日中関係を考えると日本人であることへの差別や肩身の狭さを相当覚悟してきました。しかし、実際に生活をし始めるとその覚悟は良い意味で裏切られました。もちろん日本と全く同じとは言えませんが、現地の方には非常に優しく接してもらえることが多く、赴任し間がなく、中国語の話せない私に対し精一杯の日本語で対応をしてくれる方々が多いと感じます。

現在中国の言葉や文化について分からないことが多い私ですが、ここ大連で出会う方々との縁を大切に、皆様のお力をお借りしながら、少しでも皆様のお役に立てる様、精一杯頑張る所存でございます。

ここ大連から北九州へ向けより新鮮でリアルな情報発信が出来ればと考えております。大連へお越しの際はお気軽にご連絡を頂ければ幸甚です。

連絡先：駐大連北九州市経済事務所

古賀 直樹

Mail : kod_fusuochang@yahoo.co.jp

電話：0411-3860-87298

携帯：136-0411-3842